桃色忍法秘伝書
禁 壱八歳未満閲覧

とゆーわけで
雅ちゃんが私達の修行風景を見学に来ました一♪
我々の華麗な修行の数々を参考にしようと言うわけですな一
ザ
ザ
いいでしょう一存分に見せてあげ
ザ
ザ
な一に言ってんのよ！誰か好き好んでこんなアホな所来るってのー
ゴンッ
アホ

期末試験の権題で場所を指定されたから仕方なくここに来たって言うのに一体とっやってこの低レヘルで低俗てギャグ漫画みたいな連中をレポートにまとめろってのかしら
ゴス
ゴス
ゴス
低レベル
低俗
雅ちゃん!サスケさん達に失礼でしょっ!
本当の事でも
だって思ってる事言っただけだもーん
うう…何もそこまでハッキリ言わなくても
なあサスケ
いくら雅ちゃんでもこれはお灸を据えておく必要がある
いや　ボクらの雅ちゃんだからこそ!!
というわけでヒソヒソヒソ
えっ　マジー
そこまで!?
おいおいいいのかよベイビー!
ヒャホー!!
ワイ
ワイ

フフフフフ…
よかろう
雅ちゃんには
門外不出の
究極忍術を
ご覧に入れよぅー
究極とか言ってどぅせ
制限時間内に箸で小豆を
素早く移動させるとか
くだらないの
なんでしょ？
アホクサ
ーって
お前ら！
うおーー！！
ち ちがーうー
そんなのでは
断じて無いッ！
いーわしゃあその
究極の忍術とやらを
見せなさいよ
自他共に認めるこの
天才雅ちゃんが簡単に
跳ね返してあげちゃっ
けどね！♪
あーっ
はっはっは
うまく食いついてきたな
雅ちゃん…サスケの術中に
ハマってるとは知らず
さすがだ…
性格を知り尽くしとる
恐ろしい！

み皆さん
すみません！
雅ちゃんがあんな
事を言って
ペコ
ペコ
とにかく後は
我々にまかせて
ささ忍ちゃんは
音速丸さんと
デートでも
えっ…？
デート　ですか？
いやーいいですよ
慣れてますし
しゃあ
楓さんと
行ってき
まーす♡
ドピュー
そっちか
これでよし
バタン
さて一雅ちゃん
心の準備はいいかな？
んもう何もったい
ふってんのよー
さっさと見せなさい
シュルッ

い…
ぶるん
きゃあああーっ!!
このスケへー!!
セクハラ!!
露出狂!!
だ　だって
雅ちゃんが
さっさと見せろって
言うーから
ギュッ
み　雅ちゃん
ストップストップー
もうっ!
せっかくお望みとおり
究極の忍術を
見せてあげるってのに!
ぬっ
あ　あれのドコが
究極なのよ!
え　えっと
それはね

忍術は一見飛び道具を中心とした術と思われがちだがそれは違うーー
忍術の究極形は『体術』!その中でも最も上位に位置するのがこれなのだー
急に論調が変わったと思ったらサスケのカンペかー
あぁ体で
わっ
さてコレに雅ちゃんはどう対処すると言うのかな?
え
さぁもう時間が無いぞー?
えっ?
ほらほら急いで雅ちゃんっー
ええっ
しゅっ
なっ何しく

あっ……
出……
出……
ハァ
ハァ
じゅっ♡
ドキ
ドキ
じゅっ♡
うっ!!
どぴゅ!!
ひゃっぷ!?
ん……
びゅくっ♡
んんん……
びゅくっ♡
はぁ
あ――っ
トロッ
プル
簡単に抜ね返すんじゃなかったっけっ
プル
ハァ
あれあれ
雅ちゃん おかおが
トロトロだぞぉっ
ハァ
ドロッ
なーねんだろ
コレ
ドキ
トロトロしてて
あったかくって
ドキ
ドキ

ドキ
なんか…
変な…キワシし…
ドキ
ドキ
猫ちゃん？
えっ!? あ あの
わざとだよっ！
わざとー
いきなり私の本気
出しちゃったら
かわいそうだと
思って！
ペロッ
ヘン…な…
そっか
いやーさすが
猫ちゃんだなぁ
だっ だから
その
な なんなら
もう一度
してみても
ドキ
ドキ
こっ この反応は
ワー
ドキ
ドキ
ドキ
キタキタ
キターッ!!

しゃあ……
ゴク
いや やっぱり やめておくよ
えっ……
天才の雅ちゃんに これは簡単過ぎて 失礼だ
そっ…… そんなコト ない
くっ
そんな コト
その代わりと 言ってはなんだけど 雅ちゃん
今秋々が研究 してる新しい体術の 開発に協力して くれない？
新し い？
もっと スゴイの なんだけど
ゴクリ
し 仕方ないなぁ 今回は特別に つきあって あげるっ
ありがと 雅ちゃん♡

こっ
地球上の全生物の息吹を感じ「オラに力をちょっとずつわけてくれ!」と叫ぶ
そっその体勢!
これでイイの?
それはまさに元気玉のごとく!!
何それ?
ドシュッ
食らえフリーザ!!
ジェネレーションギャップってやつか
まあ落ち込む気持ちはわかる
とっとにかく高度な術を使うとすればまず「気」の収集と補填が決まっているのだ!
おっと

いやー
うっかりしてたよ
えっ
や ちょ
な、何してるのっ!?
ぴらっ♡
気を取り込むには
肌はなるべく露出
していた方が
いいんだ♪
シュル♡
なっ
な なんで
よぉっ
じーーっ
気という物は
肌越しに少しずつ
集まるの
服はその流れを
遮断してしまう
からねぇ
て―でもみんな
見てる前で―
きゃんっ!
ピクン♡

ほら
こうして外に見せてあげる事が重要なんだ
え
だからみんなに中までしっかり見てもらおうね♡
く
ひゃーあ
ぱ♡
見られてるのに…
ドキ
どんどんドキドキしてきてる…
ドキ
あれっ──雅ちゃんもしかして見られるの好きになっちゃった?
ドキッ
!
ちっ──ちがっ違っもんっー
否定しても
ほらっ
ひあっ──
ビクッ
クチュ♡

この反応の仕方が何よりの証拠だもんね♪
くにっ♡
ぴく
んっ
は
ひゃ
ふ
ねっえっちな雅ちゃん♡
くにっ♡
ん
ぷにっ
雅違っ
えっちちが――っ
雅ちゃん えっちなのは恥ずかしがる事じゃないよ？
気の収集にもえっちである事は非常に有利
むしろありのままの自分を隠す方が恥ずべき事じゃないかな？
…できる？
ドキ
ドキ
だから
ゴニョゴニョ
え

しゃあキミ達
ここに立って
しっとしていて
オレ?
みっ・・・!!!
雅ちゃんっ!?
えっ
ひょっと
して
ぶるっ♡
ぶるん♡
ゴッ
ゴッ
チュッ♡
ペロ♡
ペロ♡
はーっ
くにっ♡
くにっ
くぷるっ♡
んるんるっ
そっ
そんな
雅ちゃん
しゅっ♡
しゅっ♡
さ サスケッ
これは
どういっ
ハァ
ハァ
ぷちゅ♡
ぷちゅっ♡

ぐっ
我々の気を提供してあげる事にしたのさ
ねっ雅ちゃん♡
ぐっ
くぽ♡
さあ手を使わないで取り出せるかな？
ドキ
ドキ
あっ
ふぁぁ
雅ちゃんのココを見る限りまたまだ足り無そうだったからね
んっ
ジュルッ
モゾ
モゾ
フン
ちゅっ♡
はい
よくできました♡
ぷるん♡
んっ♡
それ
気を錬る様にしっかり舌でねぶって
ちゅる♡
上手にできたら僕達の貯めた「気」を収集させてあげるからっ
その調子
いいよぉ
ちゅるっ♡

ハァ 出る 出るよ
うっ…ン…
ドプッ
ちゅぶっ♡
残さず たいらげてねっ…
ちゅぶっ♡
ゴクッ ゴクッ
ビューーッ♡
ホラッ… 食いしん坊の 稚ちゃんは おくち大きく あけてっ!
ハァッ
ハァッ
んあっ
あ、あ、あ…
ハァアアッ ほらおくち あ〜んして あ〜ん♡
ビュルルルッ♡
ビュルルルルルッ♡
そうそうっ 僕達の大切な 「気」なんだからね♡

ほぅら 濃い祭祀じゃ ごっくんするんだぞぉ♡
ドプッ♡
と… 濃脳オッケー♡
ゴク
ゴク
わぁ いい感じ 雛ちゃん♪
くに♡
では仕上げと 参ります
こんなにあふれて 来ちゃってるよ

ね？
こうして雅ちゃんの中におちんちんを入れて
ブル
ひっ
ピク
あっ
ブル
だっ ため ダメ えっ
残念だなぁ 天才雅ちゃんでも 忍ちゃんの実力には 及ばなかったかぁ
そんな せっかく ここまで来たのに 何でっ！
ギチ
おっ おっきすぎ こんなトコ 無理ぃ
ギチ
はへっ？
あ…お姉ちゃんも コレを…？
ん…
ああ凄いんだよ なんせトップクラスだからね
ドキ
トップクラスの人……
凄…い…
ドキ
ドキ
お姉ちゃんが…
もちろんウソです!!

んあっ!
どっ どう!? 雅ちゃんっ!
新しい体術のご感想はっ?
はっ♡
ハァ
二発やならない程イイのかなっ
ずっ♡
黙ってちゃわからないよっ
わゅぶ♡
しゅっ
しゅ
ちゅぶ♡
ほら 何か言ってごらん雅ちゃん
ずっ
ずぷっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
くぽっ
んちゅっ しゅご
ずっ♡
ぷあっ…♡
しゅご しゅごいよおおおおっ!!
はっ♡
はっ
はっ♡
じゅぷっ♡
じゅぷっ♡

雅ちゃんに気に入ってもらえるなんてっ
み…雅ちゃ…
ビュルルルッ
ああッ 感激だぁっ
ああああっ!!
ビュウウーッ
すごい完璧だよ雅ちゃん
さすが自他共に認める天才少女だ
ドポッ

忍術学園の事バカーしてごめんなさい
こんなスゴイ忍術まで研究してたなんて
いいやわかってくれればいいんだよ雅ちゃん
ただいまーっ♪
ガラガラ
楓さんとカラオケ行って来ちゃいましたー♡
なんとかなー…
とお雅ちゃん勉強になりましたか？
うん♪
お姉ちゃんがトップクラスなんて見直しちゃった♡
サスケさん達ありがとーっ♡恥ずかしからないでレポートにするねっ
じゃ!!
がんばれよー
あっ
END

どうもです。うろたんです。
今回はニニンがシノブ伝ということで
雅ちゃん溺愛本となりました。
最近こういうちょっと強気&ひねくれ者
っぽい娘属性も出てきて 雅ちゃんも
まさにソレ。
ああしかしエーデルワイスとかぶるかぶる。
声優さんも同じだし…。
まあどっちも面倒みたる！ という事で
ファイナルアンサー。
という事でどうでしょうかね？（何が）

桃色忍法秘伝書
製作：うろぴょん☆
著者：うろたん
印刷所：緑陽社
問い合わせ先
e-mail : urotan@neko.ne.jp
URL : http://urotan.neko.ne.jp/